

VGC-2652 (H)	VGC-2655 (H)	VGC-2659 (H)	VGC-2662 (H)
VGC-3052 (H)	VGC-3055 (H)	VGC-3059 (H)	VGC-3062 (H)
VGC-3352 (H)	VGC-3355 (H)	VGC-3359 (H)	VGC-3362 (H)

機種名	奥行き(mm)		高さ()内はHタイプ(mm)			巾(mm)		
	A	B	C	D	E	F	G	H
VGC-1952	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)	1,891.5 (2,131.5)	1,866.5×n+165	1,866.5×n+85	1,678.5
VGC-1955	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)				
VGC-1959	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-1962	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-2652	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-2655	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	2,567.5×n+165	2,567.5×n+85	2,379.5
VGC-2659	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-2662	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-3052	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3055	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)				
VGC-3059	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	2,918×n+165	2,918×n+85	2,730
VGC-3062	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				
VGC-3352	5,220	5,550	2,349 (2,589)	2,155.5 (2,395.5)				
VGC-3355	5,570.5	5,900.5	2,348.5 (2,589)	2,156 (2,396)	1,891.5 (2,131.5)	3,268.5×n+165	3,268.5×n+85	3,080.5
VGC-3359	5,921	6,251	2,348.5 (2,589)	2,156.5 (2,396)				
VGC-3362	6,271.5	6,601.5	2,348 (2,589)	2,157 (2,397)				

- 大屋根からの雨水や、雪が直接ヨドラーゼの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

- 組み立てでは専門業者に依頼ください。
- ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでないとい、グレーズの建付けが悪くなります。
- 強風時や雨天時の施工はおやめください。
- 高所での施工となりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
- 重荷物・長尺物は基盤掘・掘削の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
- 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
- ボルトは口に入れてください。

⚠ 注意

- 屋根に上る場合は、転倒・転落等に十分注意してください。

⚠ 注意

- 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

-
- ボルト
M6×15
(白) (色付き)
- ボルト
M8×25
(白) (色付き)
- B1バインド
6φ×14
- バインド小ネジ
M6×14
- ボルト
M8×105
- テックス
4φ×13
- ボルト
M6×90
+ワッシャー
- ルーフトドリルビス
6φ×28
- M8ナット
(産金付き)
※14mmビット
- M6ナット
- M8ナット
- M8袋
ナット

5 アンカープレート(C)

Diagram 5 shows the second step of the installation. A second anchor plate (C) is being attached to the wall, positioned below the first one. The diagram shows the plate being aligned with the wall and secured with screws. A callout box labeled '5' and 'アンカープレート(C)' points to the plate.

間口33タイプ

間口30タイプ

間口26タイプ

下枠33(左)

下枠30

下枠26(左)

下枠26(右) (左) $\ell=2,478.5\text{mm}$

下枠30 $\ell=2,829\text{mm}$

下枠33(右) (左) $\ell=3,179.5\text{mm}$

奥行52タイプ

奥行55タイプ

奥行59タイプ

奥行62タイプ

下枠26(右)

下枠26(左)

下枠30

下枠30

下枠30

下枠33(左)

下枠33(右)

取り付けます。

柱補強金具

後柱(左右)
※左右共通

中柱(左右)
※左右共通

前柱(左)

前柱(中)

中柱(中)
※間仕切り、中間
ブレースをつける
場合のみ取り付け

後柱(中)

柱補強金具

後柱(左右)

中柱(左右)

前柱(右)

ボルトM8×25(白)

ボルトM8×25(白)

前柱(中)、中柱
(中)設置方向

↓
前

柱補強金具

※ツグを柱の切欠き
に引掛け下さい。

注意

柱が下朽に入らない場合は下朽
の配置(工程3)を確認してくだ
さい。

注意

柱が倒れる恐れがありますので
場合によっては倒れ防止を
行ってください。

[illegible]

それと同時に取り付けます。

パネル受けフレームB-N ※メッキ仕上げ

梁取付金具B(右)

ボルトM8X105(白)

梁取付金具A(左)

M8袋ナット

梁取付金具B(左)

M8袋ナット

面戸フレーム

※カラー鋼板(白)

B1パインド
6Φ14

M8袋ナット

ボルト
M8X105(白)

朽中

パネル受けフレームB-N

ボルト
M8X25(白)

※メッキ仕上げ

梁取付金具C(右)

ボルトM8X105(白)

梁取付金具B(右)

ボルトM8X105(白)

梁取付金具C(右)

ボルトM8X25(白)

M8袋ナット

[illegible]

Diagram illustrating the installation of the roof frame and the attachment of the roof panels.

Main Assembly:

- Roof Frame (梁):** Consists of the front beam (梁前部) and the rear beam (梁後部).
- Roof Panels (パネル):** Attached to the roof frame using the roof panel receiving frame (パネル受けフレームA).
- Fasteners:**
 - M6ナット (M6 Nut):** Used to secure the roof frame to the side walls.
 - M8ナット (M8 Nut):** Used to secure the roof panels to the roof frame.
 - ボルトM6X90 (Bolt M6X90):** Used to secure the roof frame to the side walls.
 - ボルトM8X25 (白) (Bolt M8X25 (White)):** Used to secure the roof panels to the roof frame.

Detail View (右側):

- 取付金具D (右) (Attachment Bracket D (Right)):** A bracket used to secure the roof panels to the roof frame.
- M8ナット (M8 Nut):** Used to secure the attachment bracket to the roof frame.
- ボルトM8X25 (白) (Bolt M8X25 (White)):** Used to secure the attachment bracket to the roof frame.
- ワッシャー (Washer):** Used to secure the attachment bracket to the roof frame.
- ボルトM6X90 (Bolt M6X90):** Used to secure the attachment bracket to the side wall.

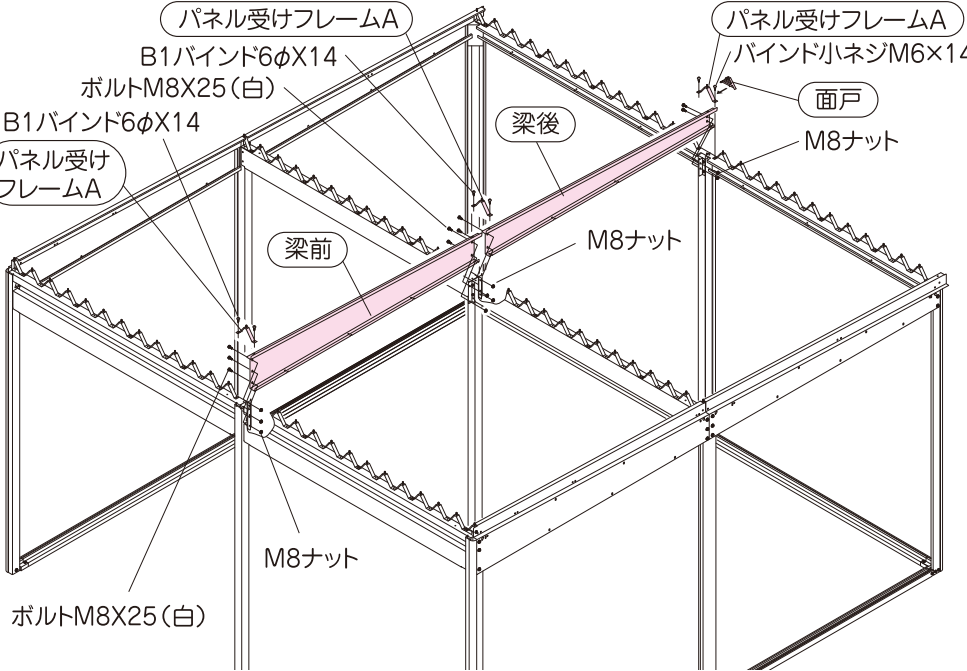
注意 (Note):

取付金具は左右があるので注意してください。
左右逆に取付くと傾いて取付きます。

The diagram shows the correct installation of the attachment brackets, ensuring they are not installed upside down, which would cause the roof panels to tilt.

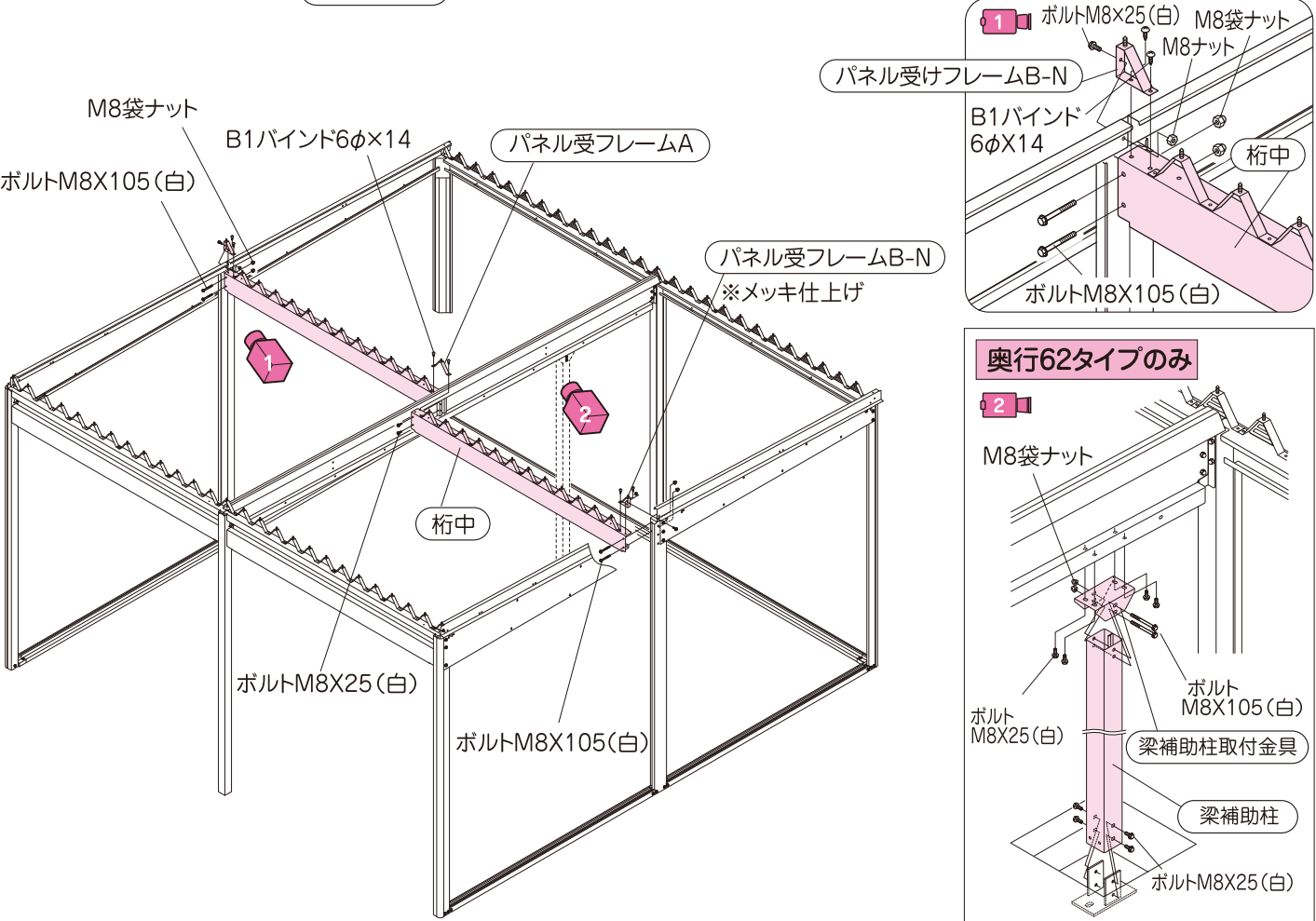
9-2 梁の取付け (間仕切り・中間ブレースを取付ける場合)

- ① 梁前 を前柱中・中柱中に取り付けます。
② 梁後 を中柱中・後柱中に取り付けます。
③ パネル受けフレームA、面戸を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。



10 桁中、梁補助柱の取付け (1本梁の場合)

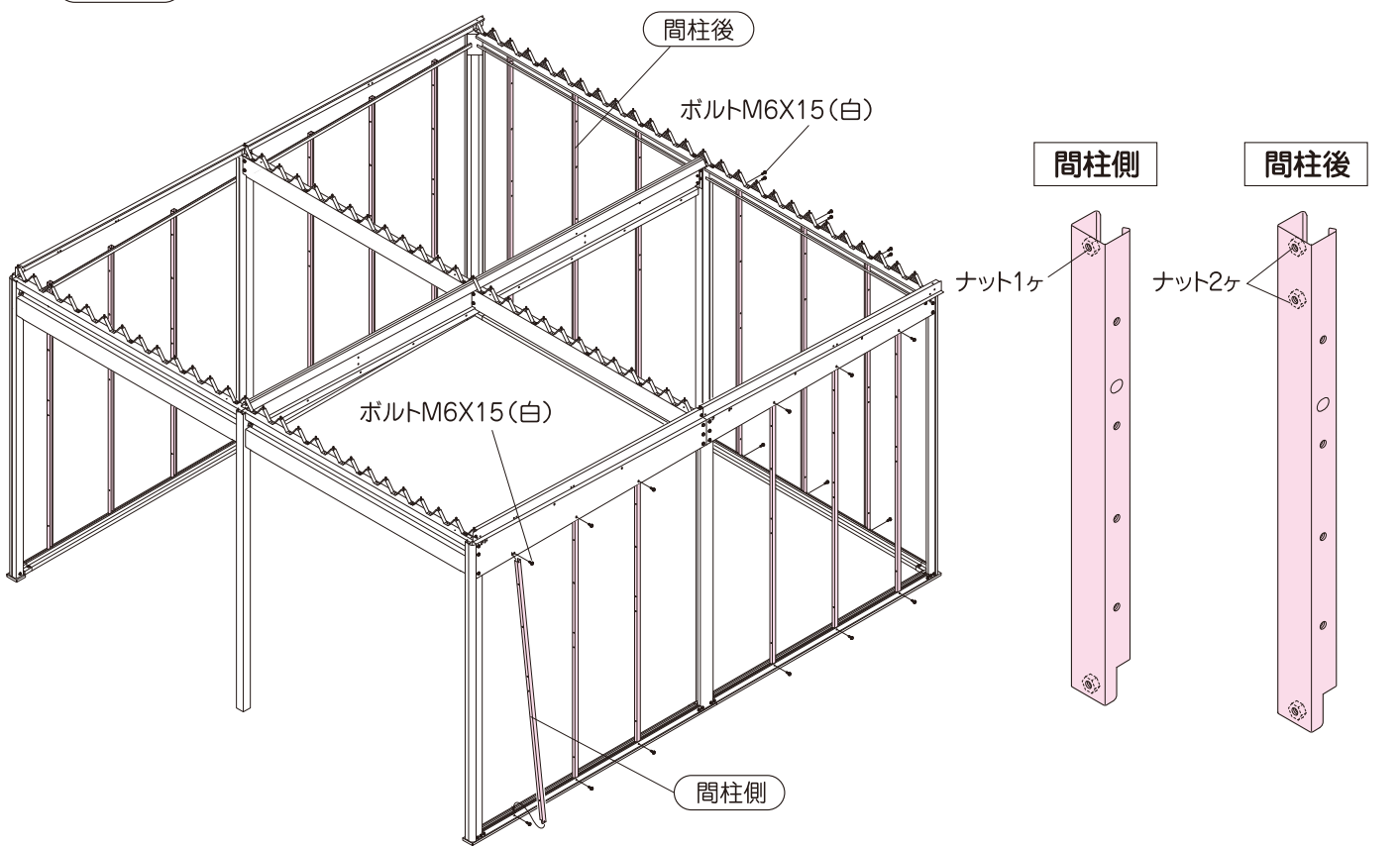
- ① 桁中 を柱・梁に取り付けます。
② パネル受けフレームA・B・N をそれぞれ桁の連結部、端部に取り付けます。
③ 奥行き62タイプのみ 梁補助柱 を梁の下に取り付けます。



11 間柱の取付け

注 強風地向け補強材」を取り付ける場合、上枠補強材を先に上枠に載せて間柱と一緒に固定してください。 ※間柱は専用間柱になります。(板厚1.6mm)

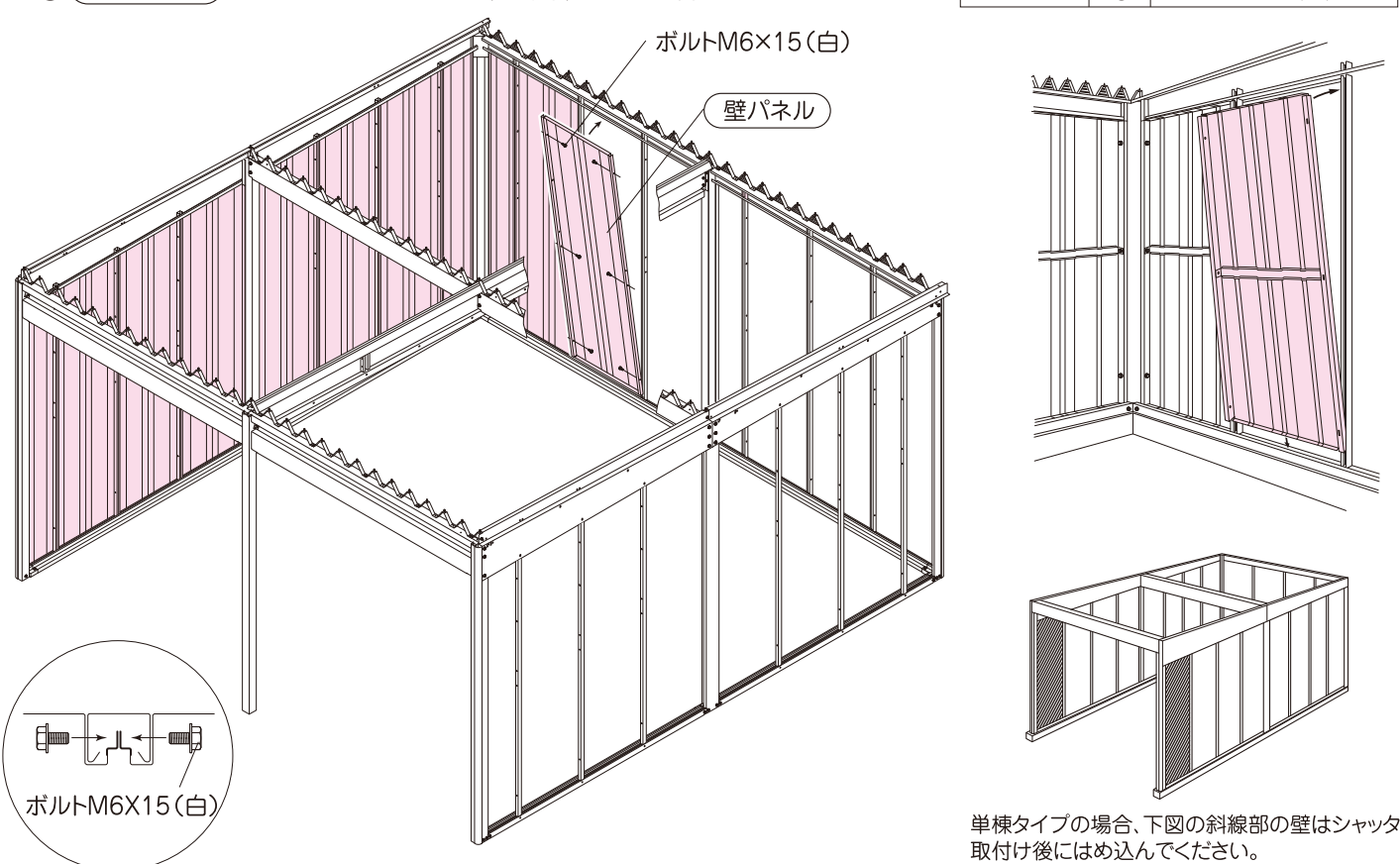
- ① 間柱側 を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
② 間柱後 を後面の下枠、桁後に取り付けます。



12 壁パネルの取付け

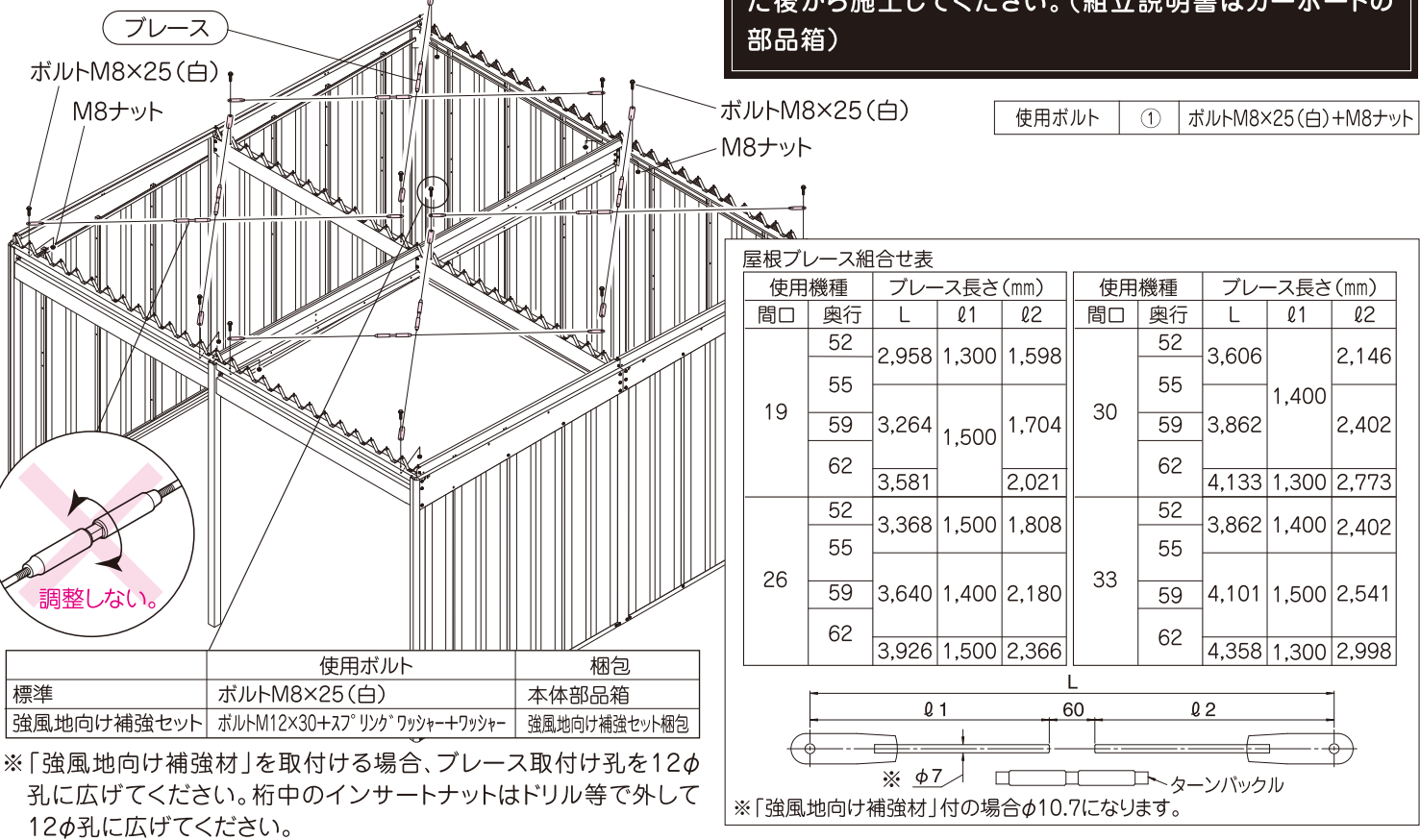
注 引戸、補助ドア、サッシ窓のある場合は壁パネルの取付けと同時に行ってください。

- ① 壁パネル を室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。



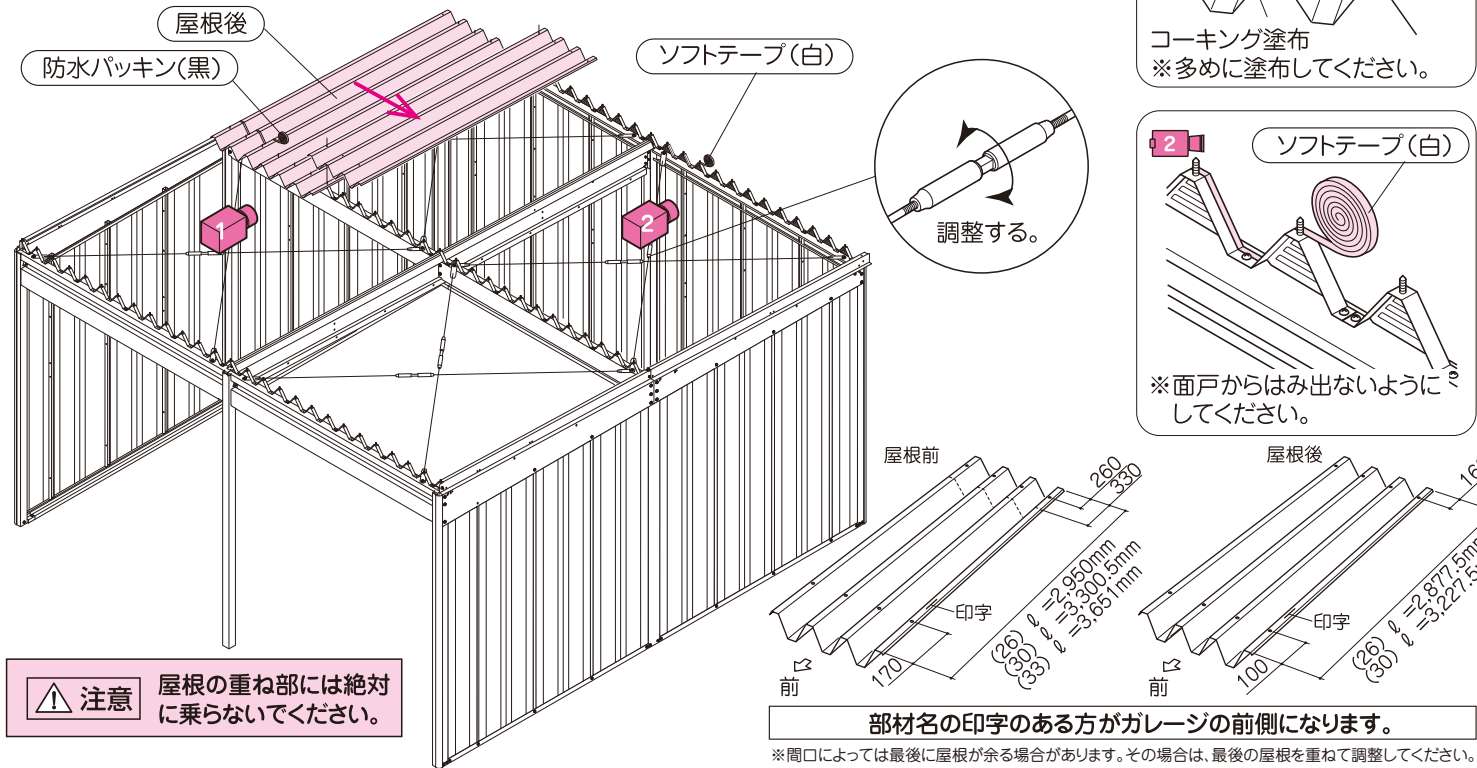
13 ブレースの取付け

- ① ブレース を桁に取り付けます。
※調整は屋根を載せた後にします。
(先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)



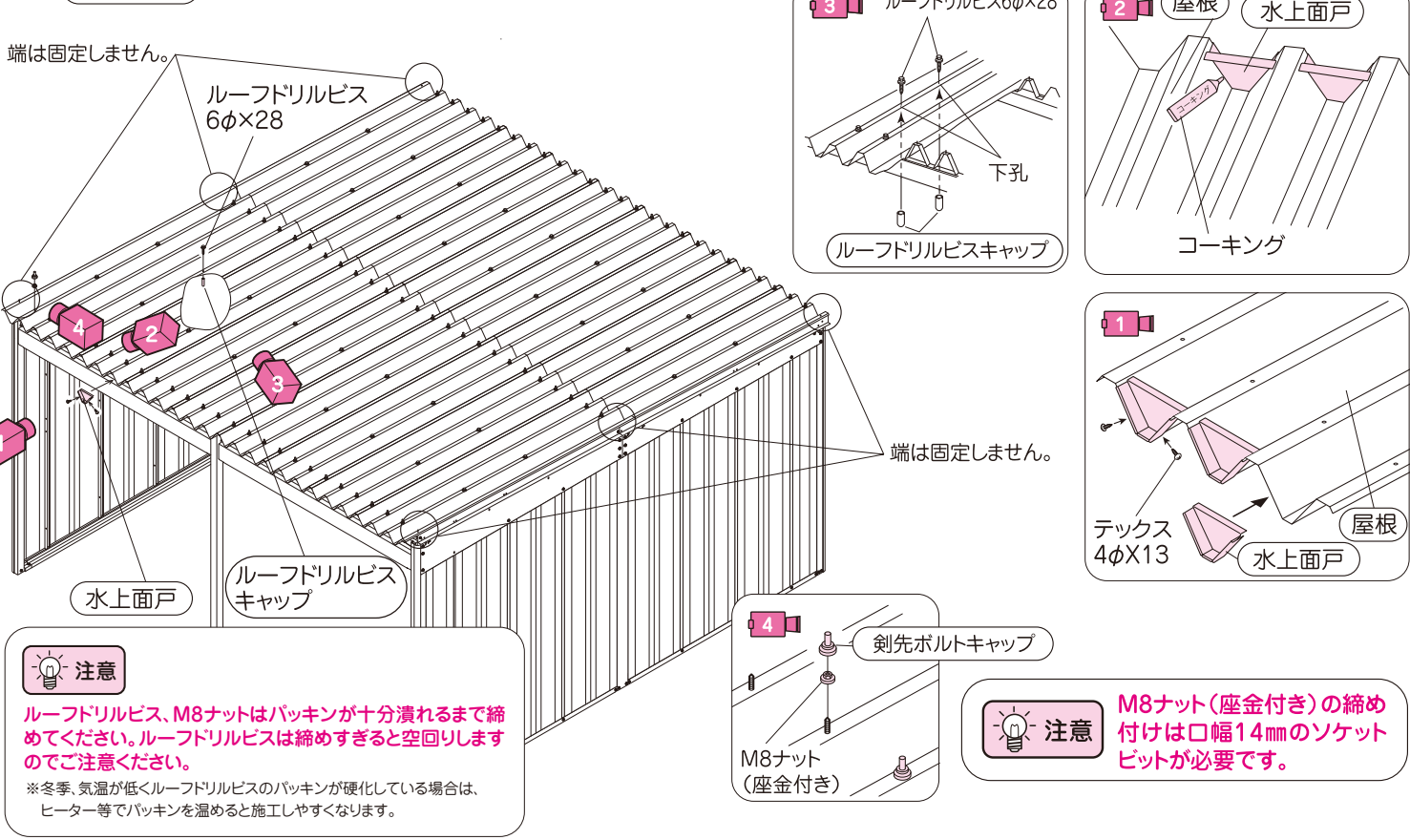
14 屋根の設置、建付け調整

- ① ソフトテープ(白) を桁後のタイフレームに沿って貼り付けます。
② 屋根後 を向かって左から載せていきます。
③ 防水バッキン(黒) を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
④ 屋根前 を向かって左から載せていきます。
⑤ ブレースのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。



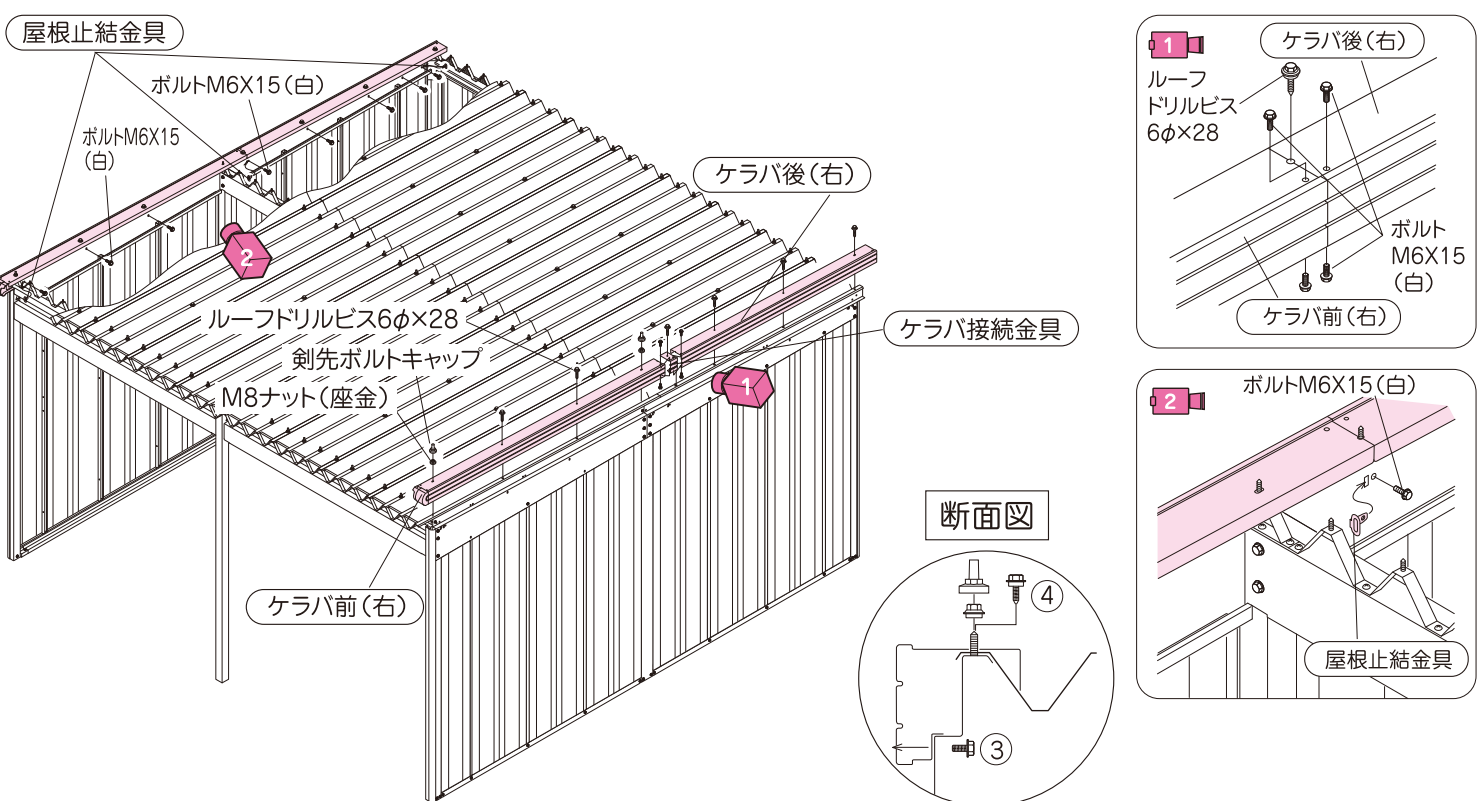
15 屋根の固定

- ① 屋根 の両端部を残し屋根をタイフレームに固定し、(剣先ボルトキャップ) を嵌めます。
② 屋根 の流れ方向の重ね部を固定し (ルーフトドリルビスキャップ) を屋根裏からがぶせます。
③ 水上面戸 を水上側に取付けコーキングを施します。



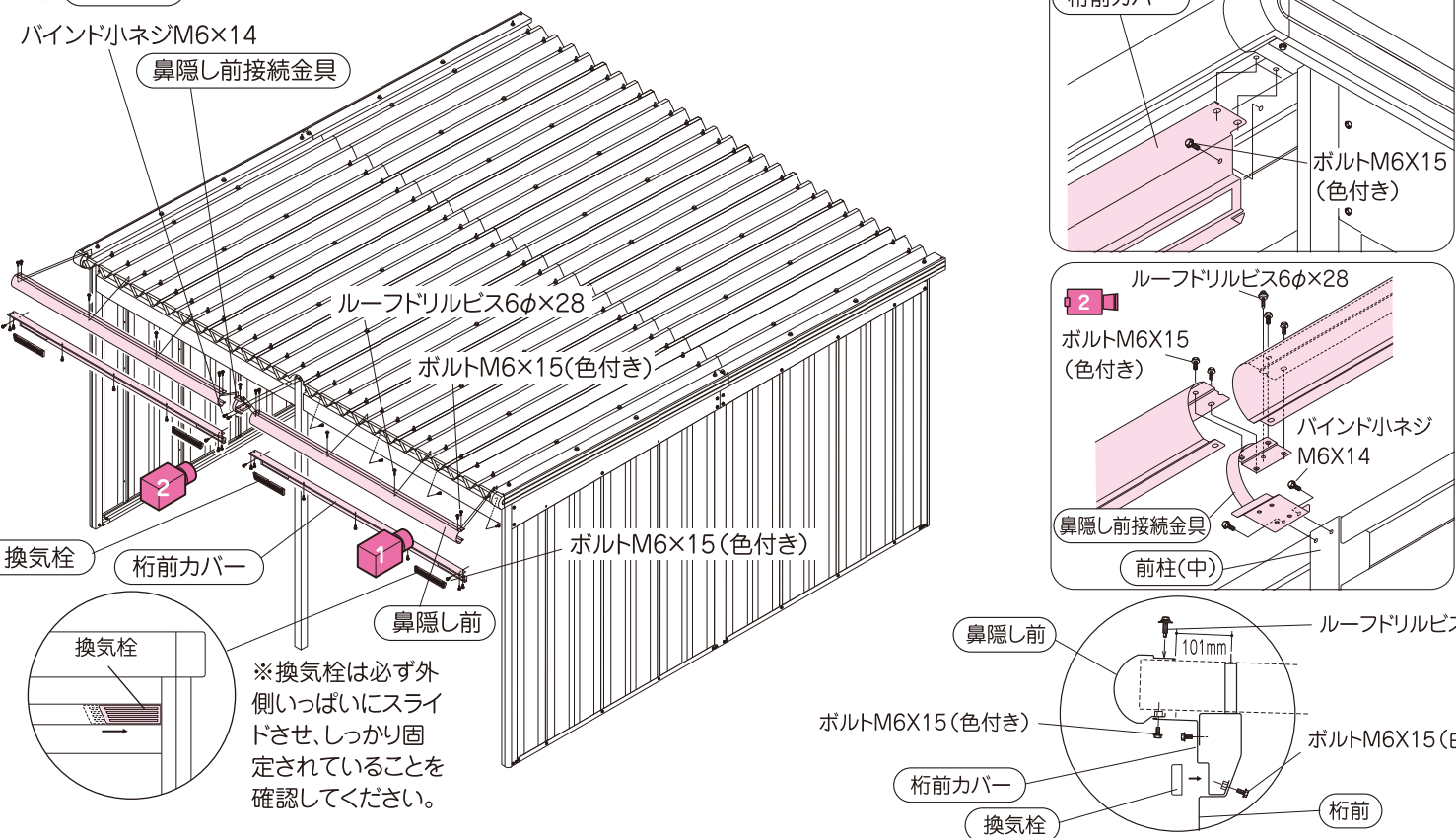
16 ケラバの取付け

- ① ケラバ接続金具 をケラバ前に取り付けます。
② ケラバ前、ケラバ後 を上枠に取り付けます。
③ 庫内から ケラバ を固定します。(3ヶ所は 屋根止結金具) を用いてボルト固定します。)
④ ケラバ上面を屋根に固定します。



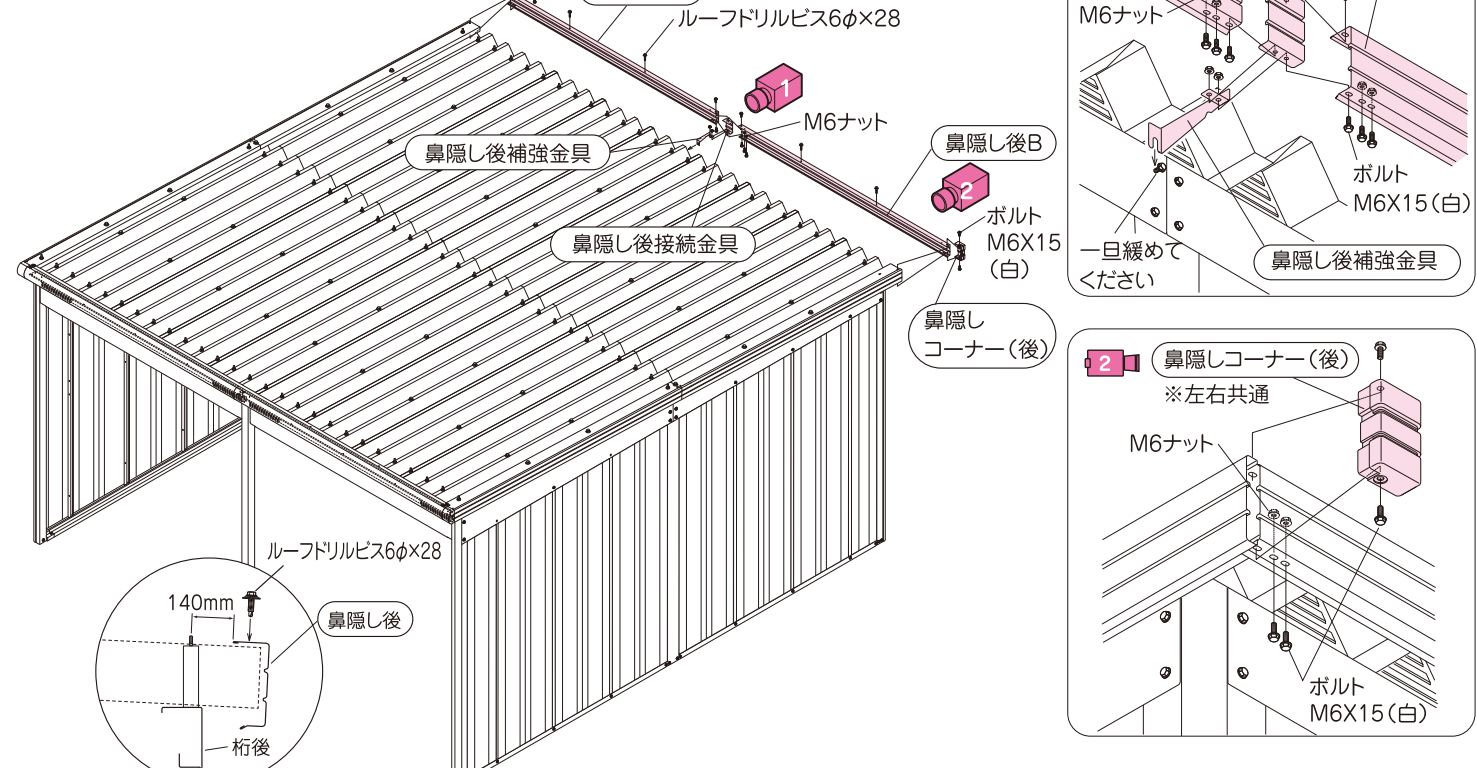
17 鼻隠し前の取付け

- ① ※連棟の場合、(鼻隠し前接続金具) を前柱中に取り付けます。
② 鼻隠し前 を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
③ 桁前カバー を桁前、鼻隠し前に取り付けます。
④ 換気栓 を桁前カバーに取り付けます。



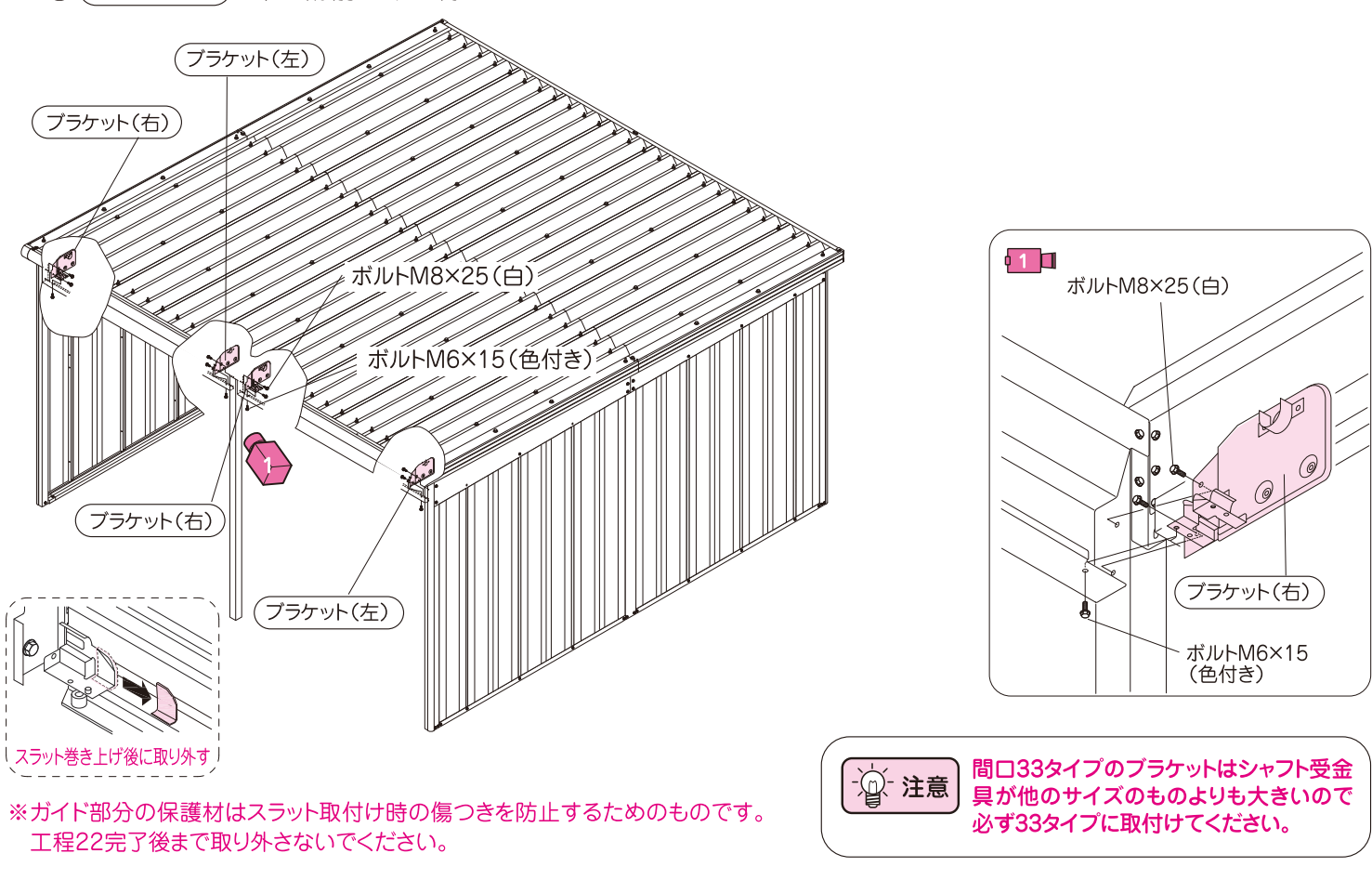
18 鼻隠し後の取付け

- ① ※連棟の場合 (鼻隠し後補強金具) を桁後に取り付けます。
② 鼻隠し後 を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
③ 鼻隠しコーナー樹脂(後) を鼻隠し後、ケラバに取り付けます。
④ ※連棟の場合 連結部は (鼻隠し後接続金具) (鼻隠し後補強金具) に取り付けます。



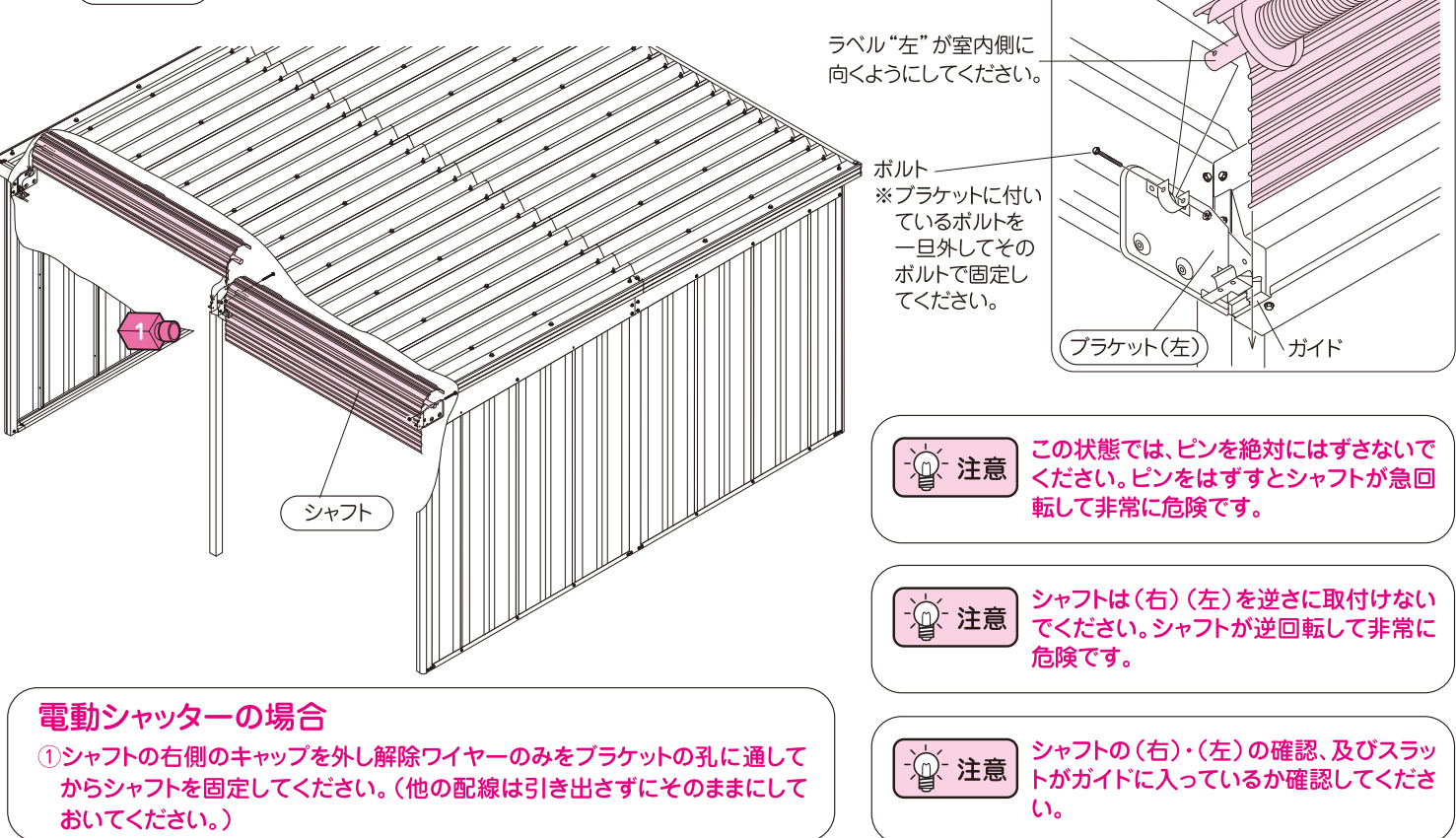
19 シャッターブラケットの取付け

- ① ブラケット を柱、桁前に取り付けます。



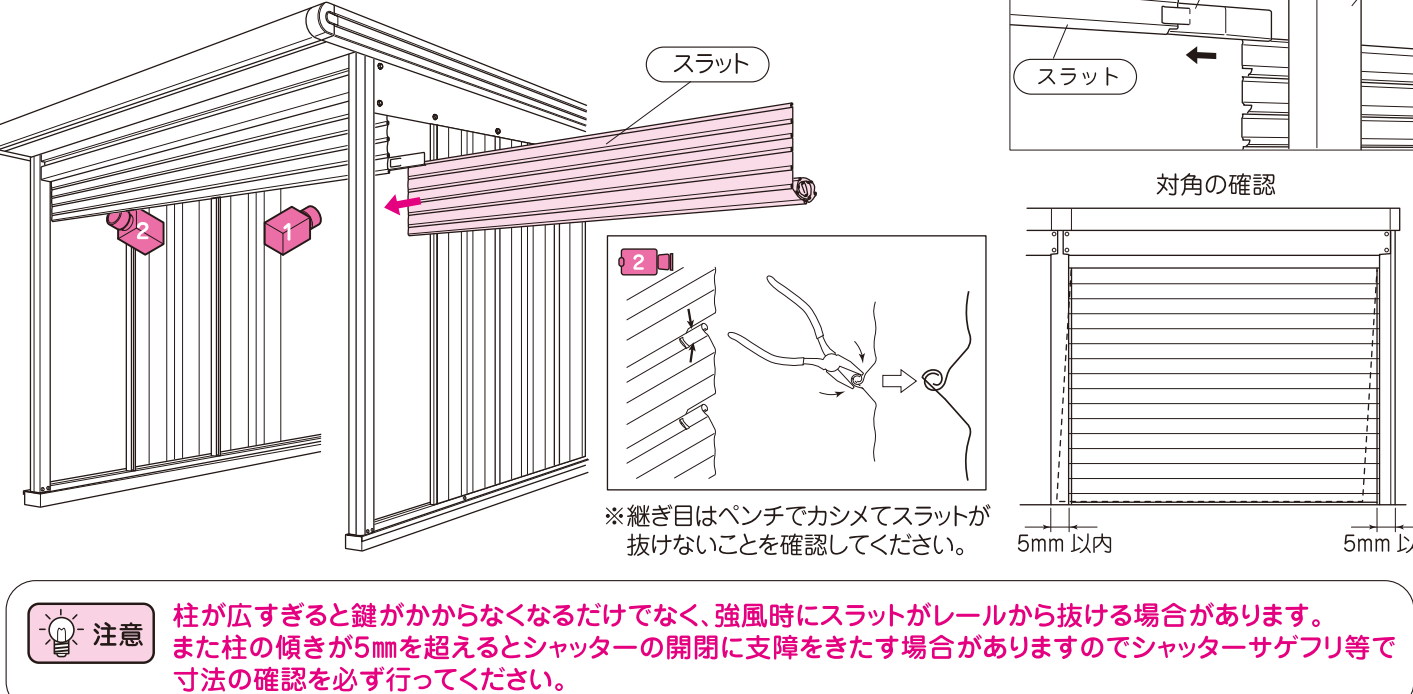
20 シャッターシャフトの取付け

- ① (シャフト) をブラケットに取り付けます。
(左右のラベルが室内側に向くようにして取り付けてください。)
② (スラット) をブラケットのガイドに通します。



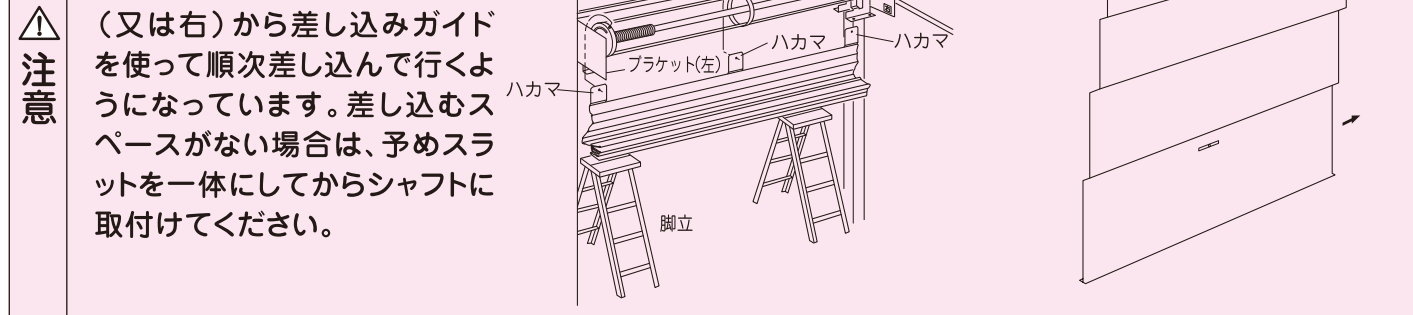
21 スラットの吊りこみ

- ① (スラット) を差し込みガイドを使って順次差し込みます。
② 継ぎ目をカシメます。(両端カシメてください。)
③ 柱の建ちを確認します。



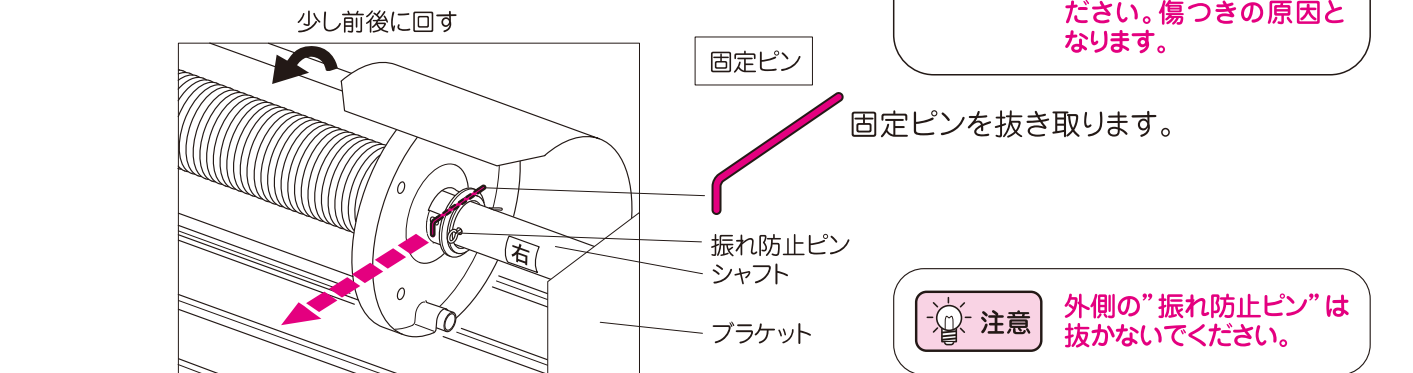
注意 柱が広すぎると鍵がかからなくなるだけでなく、強風時にスラットがレールから抜ける場合があります。また柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に支障をきたす場合がありますのでシャッターサゲフリ等で寸法の確認を必ず行ってください。

注意 「Hタイプ」および「シャッター延長仕様」の場合、シャフト棚包に入っている分割スラット(3~4枚組)を最初(最上段)に忘れずに取り付けてください。



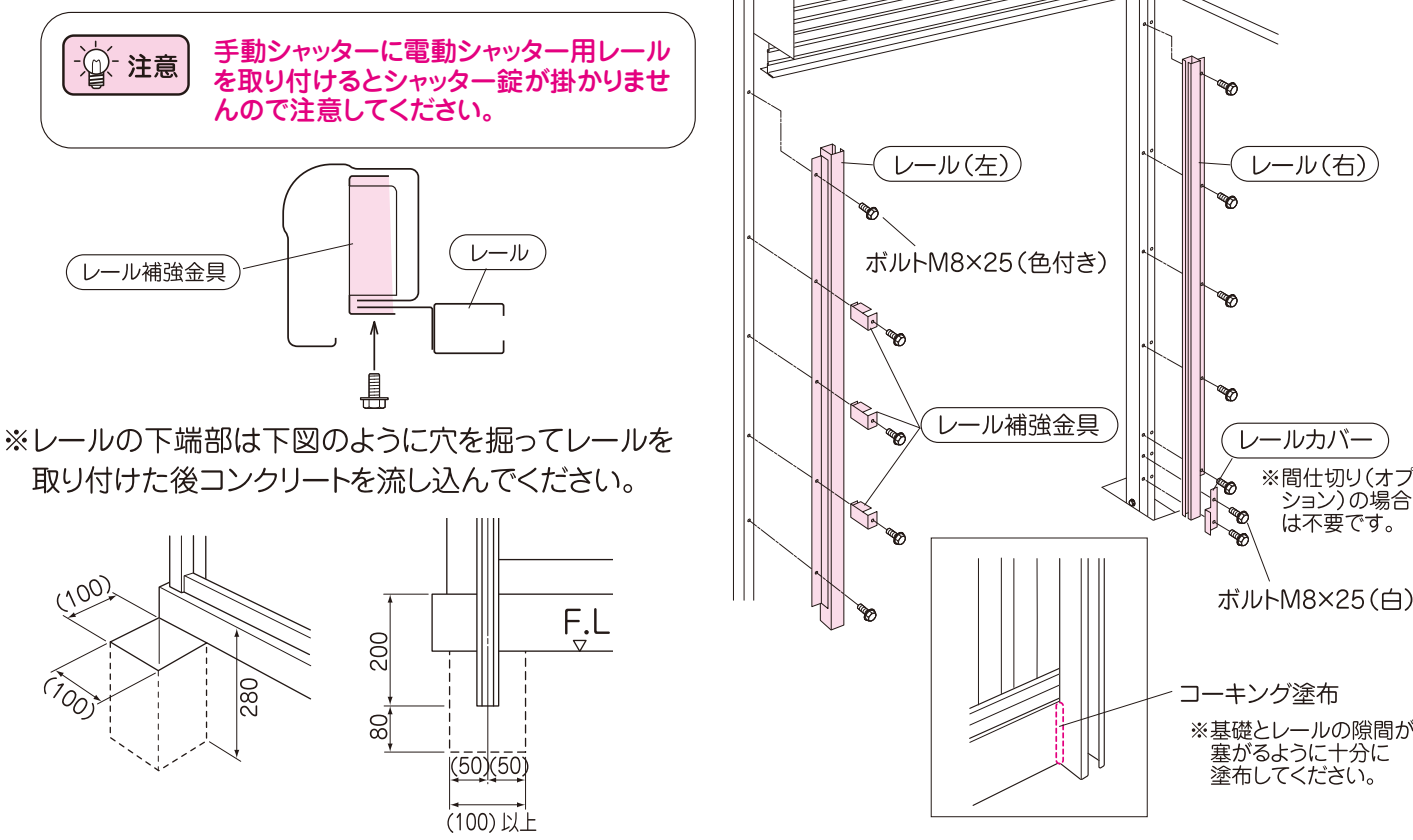
22 シャフト固定ピンの抜き取り

- ① シャフトの両端にある固定ピンを抜き取ります。
② スラットを巻き上げます。
③ ガイド部分の保護材を横に引き抜いて取り外してください。



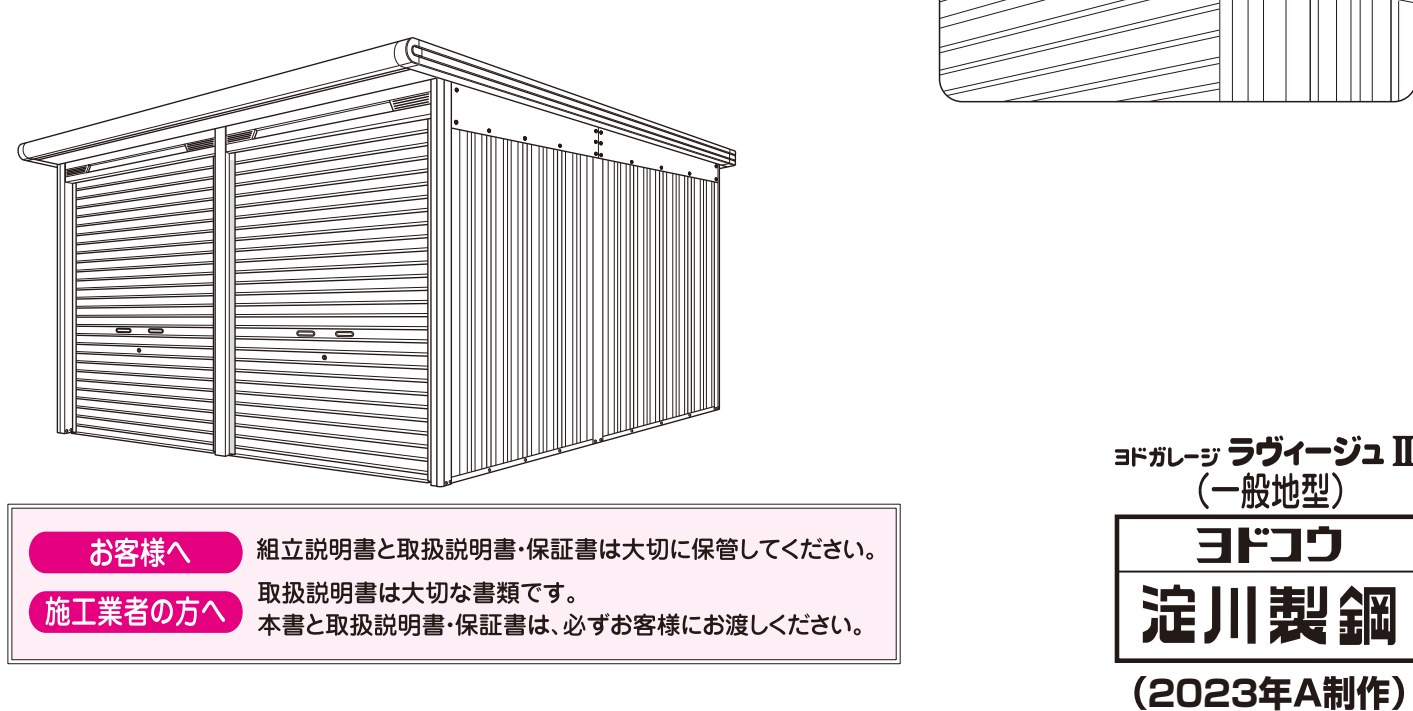
23 レールの取り付け

- ① レール を前柱に取り付けます。
② 両サイドの柱には、中央3ヶ所に (レール補強金具) を取付けます。
③ 連結部は下部に (レールカバー) を取付けます。
④ 基礎部分にコーキングを塗布します。



24 完成

- 最後に、ボルトのゆるみがないかどうかもう一度確認し、前柱(中)、中柱(中)部分にコンクリートを流し込んでください。
デッキ等の切粉は必ず取り除いてください。
下図の位置に銘板を貼付けてください。
鍵は錠の裏側にあります。お客様にお渡しください。
本書と取扱説明書はお客様にお渡しください。

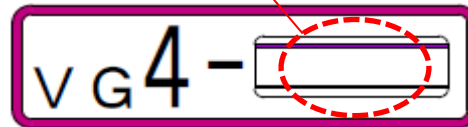


ヨドガレージ ラヴィージュ III

シャッター仕様変更に伴う補足説明

シャッター仕様がA、Bの2種類ありますので、シャッター梱包の色名番号によって施工内容を以下の通り替えてください。

色名記載箇所



A. シャッター梱包の色名記号が次の場合

正面シャッター・・・MG、SM、DW	(例) VG4-1231 SM (電動の場合 VG4-1231 SMR)
側面、後面シャッター・・・無記載	(例) VG4-7121 (電動の場合 VG4-7121R)

梱包番号、組立てについては組立説明書の通りとなります。

電動シャッターの場合、電気工事はシャッターメーカーで行いますので、組立説明書およびシャフト梱包に付属の補足説明書に従い、ケーブル類の取り出しのみ行ってください。

B. シャッター梱包の色名記号が次の場合

正面シャッター・・・LG、RB、LW	(例) VG4-1231 RB (電動の場合 VG4-1231 RBR)
側面、後面シャッター・・・CB	(例) VG4-7121 CB (電動の場合 VG4-7121 CBR)

組立方法、梱包内容表が組立説明書と異なりますので以下をご確認ください。

電動シャッターの場合、電源プラグの接続、動作確認、リミット調整まで完了させてください。

※母屋～コンセントまでの電気工事は有資格者が行って下さい。

※電動シャッターの取付要領書がシャフト梱包に付属しておりますのでご確認ください。

組立説明書については、以下の通り読み替えを行ってください。

工程 19

ガイド部分に保護材は付属していませんので、そのまま取付けを行ってください。

工程 20

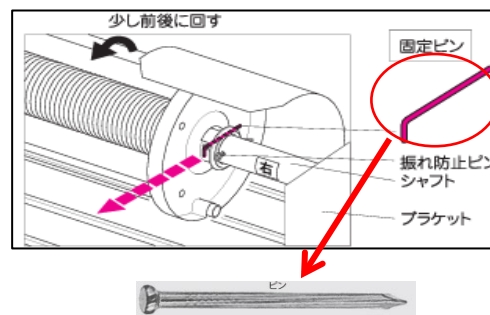
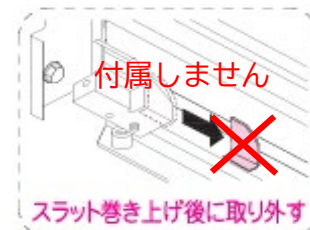
電動シャッターの場合はシャフト梱包に付属の取付要領書に従い配線を行ってください。

工程 22

固定ピン形状がL形状ではなく、クギ形状になります。

工程 24

電動シャッターの場合はシャフト梱包に付属の取付要領書に従い、リミット調整まで行ったあとお客様に引き渡しを行ってください。



梱包内容表については、シャッター関連梱包の色名が変更となっておりますので読み替えてください。

SM (スミ)	⇒ RB (リッチブラック)
MG (メタリックグレー)	⇒ LG (ラグジュアリーグレー)
DW (ダークウッド)	⇒ LW (ラグジュリアスウッド)
無記載	⇒ CB (カシミヤベージュ)

※スラット、シャフト梱包以外は変更ありません

※オーバースライディングドアは変更ありません

ヨドガ
淀川製鋼

VG4-HH07
(2024年A制作)